

富秋中学校区において、子ども達を安心して育てる環境づくりについて

1)学校における子ども・家庭支援の取組み

2)学校と地域が連携した取組み

3)学校における生徒指導に関する取組み

4)富秋中学校区における特色ある教育内容の実践状況

5)その他、地域・行政における子ども・家庭支援の取組み

富秋中学校区における学校教育の取組

【中学校区でめざす子ども像】

「自分のおもいを自分のことばで話せ、人のおもいを聞き取り、受け止めることができる子」

1. 学校における子ども支援・家庭支援の取組み

□「校内家庭支援会議」（幸小）、「SK（支援教育）会議」（幸小）、「TS（特別支援）会議」（池上小）、など

- ・定期的に会議を開き情報共有や支援に向けた検討を実施
- ・職員全体で子どもの状況を深く理解

□登校支援

- ・担任以外の教員全員が朝の健康観察時に各教室を回り、遅刻・欠席の状況を確認
- ・登校支援を必要とする子ども、家庭への対応

□関係機関、各専門員との連携

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市や各学校関係機関と連携した教育相談や子ども・家庭支援等の組織的な対応
- ・特に配慮、支援の必要な事案については専門家等も交えたケース会議を実施

□いじめ防止

- ・いじめ防止やいじめ対策に向けた委員会を設置し、組織的ないじめの起きにくい学校づくり

□たてわり活動

- ・学年関係なくみんなが仲良くなれるように「ザ・幸っ子アドベンチャー」や「さいわい祭り」など楽しいたてわり行事を企画（幸小）
- ・たてわりクリーン作戦、わんさか遊ぼう（たてわり遊び）、キッズフェスティバル（池上小）



□小中一貫教育推進会議

- ・3校合同研修の実施
- ・年6回の授業づくり研修、学識による講演会、生徒指導研修、人権教育研修など



2. 学校と地域が連携した取組み

□富秋すこやかネット

保育園、幼稚園、学校、家庭、地域が一緒に子どもの発達や教育について考え、具体的に活動できるように、3つの委員会を設置しての取組み

→ 家庭支援委員会、子育て交流委員会、読書委員会

□ITS咲かせ隊

- ・情報交換や地域の巡回（ゴミ拾い）、花いっぱいプロジェクト等を実施



□青少年センター（どろんこ子ども会）職員との連携（幸小）

□土曜日教室（池上小）

- ・ P T A や地域の方、教職員などが講師となり、スポーツや工作等を実施

□若つど

- ・ 「障害」をもつ仲間とともに歩む和泉若者のつどい
- ・ 2 小学校の児童会と生徒会が合同で模擬店を出店

□いずみブックフェスティバル

- ・ すこやかネットの読書委員会が事務局となって開催
- ・ 中学生が小学生、幼稚園、保育園の子どもたちに、絵本の読み聞かせ



3. 学校における生徒指導に関する取組み

□朝のあいさつ運動

- ・ こころのキャッチボールを促しながら、遅刻や服装、交通安全なども指導
- ・ P T A や自治会などの協力も得ながら、地域全体の見守り活動として



□授業間の見守り

- ・ 各授業間に授業のない教職員が校内を回り、授業になじめない子どもへ働きかけ
- ・ 授業にも入り寄り添った支援



□教育相談

- ・ 担任とのつながりを深め、いろいろなことを相談できるように学期ごとに教育相談週間を実施（富秋中）

□子ども支援コーディネーターによる取組み（富秋中）

- ・ 特に支援の必要な子ども、家庭に対し、関係機関と連携した一人ひとりに応じたきめ細やかな支援の推進、調整
- ・ 進路指導主事と連携したキャリア教育
- ・ 生徒指導主事と生徒会活動の連携を図り、「集団づくり」を基盤とした生徒指導を推進
- ・ 各種アンケートを実施し、生徒の生活面や意識の実態を把握
- ・ 家庭支援の必要な家庭に対し、関係機関やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家との調整を行い、ケース会議を企画、調整

□児童生徒支援加配教員による取組み

- ・いじめ、不登校等の未然防止、課題対応
- ・個々の生徒の情報共有や必要な研修を推進
- ・不登校生に向け、生徒指導主事や子ども支援コーディネーターと連携した登校できる環境づくり（富秋中）
- ・教室で不適応な行動を起こす生徒に対して、落ち着ける環境と適応力を養うための居場所を提供し、自身の行動の振り返りと自尊感情の向上を図る。

□生徒指導主事による取組み（富秋中）

- ・関係機関（子ども家庭センター、家庭裁判所、警察など）と連携した生徒指導の調整
- ・生徒の規範意識の向上に向け、校内外の巡視活動や生徒指導集会、喫煙防止教室などの企画・調整
- ・全職員で不登校や問題行動、支援の必要な生徒にあたるための職員の資質向上に向けた研修を企画
- ・地域の教育力向上に向けた、ITS 咲かせ隊やPTA生徒指導委員会などの運営に参画

□少年健全サポートチーム（富秋中）

- ・教育委員会や管内の警察官、協働員など、関係諸機関や地域の人々の協力のもと、授業時間中の校内見守りや放課後の巡回を実施

4. 富秋中学校区における特色ある教育内容の実践状況

《人権教育の充実》

□平和学習 平和登校

- ・事前学習や修学旅行（広島、沖縄）での学びを発表、報告

□障がい者理解学習

□部落・同和問題学習

- ・地域や青少年センター職員との連携

□在日外国人理解学習 国際理解学習

□起業家教育（幸小）

- ・地域産業を活かしたキャリア教育

□人権授業週間（人権教育、道徳の公開授業）

□集団、仲間づくり

□人権学習、キャリア教育

- ・職業講話、職場体験、保育実習（富秋中）
- ・多様な人との出会い、豊かな体験活動を取り入れた学習活動
- ・各学年の発達段階に応じて、人権課題についての学習、その課題に向けて積極的に働きかける生徒の育成
- ・保育園、幼稚園、小学校、中学校、児童養護施設、支援学校との連携・交流



《学力保障・向上に向けた取組み》

□学力保障・学力向上の取組みの実施

- ・授業研修の実施（富秋中）
→「分かる授業」「楽しい授業」にむけて年間3回の研究授業と全員1回以上の公開授業の実施
- ・月一研修（幸小）
→日々の授業に役立つように教員のニーズに合った研修を実施
- ・グループ活動を活用した授業展開（富秋中）
→グループによる課題解決の時間を設定し、「主体的、対話的で深い学び」ができる授業の在り方を全員で研究
- ・おはよう計算（池上小）
→つまずきに応じた課題プリントを作って実施
- ・みんな宿題（富秋中）
→既習内容の定着を図るための基礎的・基本的な学習内容を全員が、宿題として、家庭で実施する学習のための教材。各教科担当が作成する。
- ・終わりの10分間学習（富秋中）
→テスト前の帰りのホームルームの時間に、テスト範囲での振り返り学習を実施。
- ・放課後学習会（富秋中）
→テスト一週間前に、放課後、テスト前学習会を各教科、各クラスで実施し、テスト前学習の支援を行っている。

□読書教育の推進

- ・朝読書や暗唱の実施
- ・地域教育協議会主催の「ブックフェスティバル」の実施
- ・校区全体で「読書にふれる」機会を持ち、地域全体での読書推進を図る。
- ・保護者ボランティアによる読み聞かせ（幸小）
- ・家族10分読書（幸小）



□自学自習力・家庭学習習慣の育成

- ・家庭学習「ハッピーチェック」（幸小）
- ・少人数通信（幸小）、授業改善（JK）通信の発行（池上小）
- ・学年の課題に応じたプリント作成

□個に応じた指導

- ・入り込み、少人数指導形式の授業
- ・学力向上サポーターや学生ボランティアの活用
→授業でのサポートや放課後を活用した学習会、補習
テスト前勉強会、など
- ・夏休み補習（夏休み宿題教室）（幸小、池上小）



5. その他、地域・行政における子ども・家庭支援の取組み

□いずみ希望塾

- ・学ぶ意欲があり、学習塾に通っていない小学5年生～
中学3年生を対象に実施（青少年センター他）



□地域教育協議会への補助、運営支援

□スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置

□奨学基金制度運用

□子育てサポート事業（青少年センター）

- ・どろんこ子ども会
- ・各種のイベント・講座等の開催



□読書活動（にじのとしょかん）

- ・ボランティアによる絵本などの読み聞かせ

□学習支援・子ども食堂（てらこやハッピー実行委員会）

- ・西教寺が門徒会館と本堂を使って、近隣の小中学生を対象とした子ども食堂
「てらこやハッピー」を開催



□地域子育て支援センター（さいわいこども園）

- ・在宅児を対象に親子教室や子育て相談等を実施

□家庭支援の保育士を配置（さいわいこども園・くすのき保育園）

- ・家庭支援の保育士を配置し、育児教室、家庭訪問等により相談支援を実施

□いずみファミリーサポートセンター

- ・育児の援助をしたい人、育児の援助を受けたい人からなる相互援助活動

□留守家庭児童会、放課後子ども教室の開設

□くらしサポートセンターの設置や離職者の就労活動支援を目的とした住居確保のための給付金制度など生活困窮者への自立支援事業

□無料職業紹介センターの開設

□暮らしの悩みや困りごとなどの総合相談窓口「いきいきネット相談支援センター」を開設（富秋中学校担当：和泉市社会福祉協議会）

□青少年センター、人権文化センターにおける相談事業